

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	22008
課題名	当院で経験した精神疾患合併妊娠の周産期予後と病状悪化のリスク因子
研究期間	実施許可日 ～ 2022年 12月 31日
研究の対象	2017年1月～2021年12月に当院で出産された精神疾患合併妊娠の妊婦さんと出生されたお子さん
利用する試料・情報の種類	<p>■ 診療情報（詳細：母体年齢、精神疾患の診断名、妊娠前後の抗精神病薬投薬内容、妊娠後の抗精神病薬減量の有無と自己判断による減量か医師の判断による減量か、妊娠中の抗精神病薬増量の有無、妊娠中と分娩1ヶ月以内の精神科入院の有無、胎児発育不全の有無、妊娠糖尿病合併の有無、妊娠高血圧症候群合併の有無、分娩週数、妊娠歴、分娩様式、児の出生体重、Apgar Score、臍帯血pH、臍帯血BE、新生児薬物離脱症候群の有無 等）</p> <p><input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/> 血液</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>
研究の意義、目的	精神疾患に罹患される方は近年増加しており、精神疾患を持ちながら妊娠、出産される方も今後さらに増加していくことが予測されます。しかしながら、精神疾患合併妊娠の周産期予後や病状についての国内での報告は限られており、管理の方法に一定の指針は得られておりません。どのような周産期予後が予測されるか、病状悪化に影響を与える因子はあるかなどを調査することで、今後の診療の一助となることが期待できます。
研究の方法	過去に当院で精神疾患を持ちながら妊娠・出産された方の診療録をもとに、精神疾患合併妊娠の周産期予後にどのような傾向があるかを検討します。 また、精神疾患の病状悪化がある症例ではどのようなリスク因子があるかを検討します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 電話番号：0166-65-2111(代表) 所属：旭川医科大学 産婦人科学講座 吉澤明希子(研究責任者)</p>

	<p>研究責任者：</p>
--	---------------

	<p>旭川医科大学産婦人科学講座 吉澤明希子</p>
--	----------------------------